

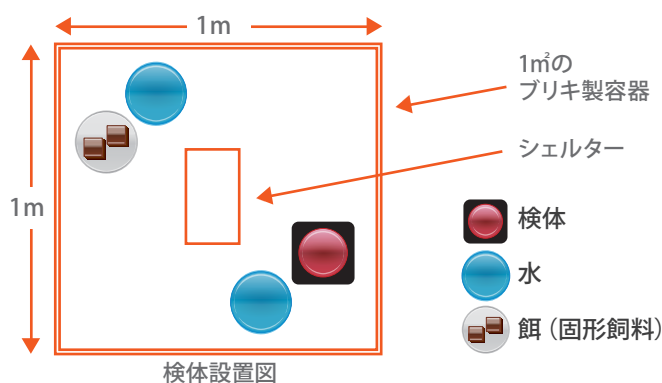


# マックスフォース マグナム チャバネゴキブリに対する任意摂食室内試験 ①

**前処理** 試験容器 (1㎡、ブリキ製) にチャバネゴキブリ雌雄成虫 (各50匹、合計100匹) を一昼夜以上放置した。

## 試験

検体 (マックスフォース マグナムを注入した誤食防止容器) を配置し、LT<sub>50</sub>、LT<sub>90</sub>、マックスフォース マグナムの喫食率を求めた。  
LT<sub>50</sub>、LT<sub>90</sub>:それぞれ半数致死又は90%致死に至るまでの日数を示す。



## 結果

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べ、半数致死時間 (LT<sub>50</sub>) は、ほぼ同等であったが、90%致死時間に関しては有意に優れたいた。  
マックスフォース マグナムは試験開始後6日で食べつくされ、対照薬剤の10日後の26.4%に比べて非常に高い喫食率を示した。

供試薬剤	雌雄各数 (合計供試虫数)	配置量 (g/㎡)	LT <sub>50</sub> (日)	LT <sub>90</sub> (日)	平均喫食率 (%)
マックスフォース マグナム	各50匹 合計100匹	0.4g (容器入り)	0.952	1.87	100
対照薬剤M	各50匹 合計100匹	0.3g (容器入り)	0.926	2.70	26.4

## 考察

マックスフォース マグナムは高い喫食性と、確実な致死効果 (90%致死時間) を持つ優れたゴキブリ用ベイト剤ということがわかった。

**試験機関** (財) 日本環境衛生センター